



11月15日、町民センター大集会室にて防災講演会が行われました。

講師は、剣淵町出身で北海道大学大学院理学研究院助教の定池祐季さんが勤め、被災地の状況や防災についての意識チェック等について講演されました。



11月16日、剣淵神社にて、新穀感謝祭が行われました。

農業関係の各団体の方々が集まり、今年の剣淵町の大地で取れた新鮮な野菜が豊作であったことに感謝を込め、また来年も豊作であるようにお祈りしました。



11月20日、剣淵町ふるさと応援寄付金の納付があった東京都原田伸幸さんに町長から感謝状が贈与されました。

原田さんは剣淵町出身で、寄付金は、高等学校・老人福祉事業の振興に使用される予定です。



11月21日、剣淵小学校体育館にて、札幌交響楽団による演奏会が行われました。

札幌交響楽団は、現在76名の団員で構成されており、透明感のあるパワフルな音楽を表現し、来場者は素敵な音色に感心していました。



11月27日、剣淵小学校6年生が役場を訪れ、ペルーや議会について学びました。

まず、小学生たちは町長からペルーの話聞き、海外の文化を学び、次に議会へ移動し、議会について学んでから、子どもたちが町長や議長等になり、議会を行う模擬議会を行いました。



11月28日、日本赤十字社献血功労団体の表彰が行われ、日赤剣淵町分区長の町長から剣淵ライオンズクラブに感謝状が贈呈されました。

剣淵ライオンズクラブは、永年にわたり継続して献血運動にご功労があり、今回の受賞となりました。



12月3日、剣淵中学校生徒会会長山下東紗さん外5名が生徒を代表して中学校で集めたお金を寄付するため、町長室を訪れました。

今回の寄付金は、けんぶち絵本の里づくり事業の貢献のために使用される予定です。



12月8日、絵本の館でクリスマスパーティが行われました。

中学生のハンドベル演奏、大友剛さんのマジックや歌が披露され、子どもから大人までパーティを楽しみました。その後、子どもたちはサンタさんからプレゼントを受け取り、喜んでいました。

